

自由来聴歓迎・入場無料

「国際植物の日」関連イベント・筑波大学三菱 UFJ 環境財団寄附講義公開シンポジウム

自然を知る・守る ～地球規模課題と地域活動～

2019年5月18日〔土〕

筑波大学図書館情報メディアユニオン・2F メディアホール
(つくば市春日 筑波大学春日キャンパス・Tx つくば駅徒歩5分)

12:00 はじめに

白岩善博 (筑波大学特命教授・名誉教授)

12:05 地球環境問題映画 (グリーンイメージ国際環境映像祭より)

- ・「子どもどうぶつ劇場—里山探検 & エゾシマリス編」
- ・「田んぼ—生きものは語る」

〔休憩：5分〕

13:10 「筑波大学三菱 UFJ 環境財団寄附講義」

鈴木石根 (筑波大学生命環境系教授)

13:20 「自然を基盤とした SDGs の達成」

吉田正人 (IUCN2020 準備会共同代表・筑波大学教授)

〔休憩：10分〕

14:00 「霞ヶ浦の自然保全と世界湖沼会議」

福島武彦 (茨城県霞ヶ浦環境科学研究センター長)

14:30 「環境保全と経済活動のバランス：霞ヶ浦の水質改善にはいくらかかるか？」

水野谷 剛 (筑波大学生命環境系准教授)

15:00 「地域における環境保護活動と役割」

園田保男 (NPO 法人森の包括支援センター代表)

〔休憩：15分〕

15:45 パネル討論 (司会：白岩 善博)

「地域の環境保全・自然保護の実際」

- パネラー：
- ・奥村司 (八大緑遊会 会長)
 - ・金親博榮 (NPO 法人・ちば里山センター 理事長)
 - ・千明武紀 (NPO 法人・緑サポート八王子 理事長)
 - ・高野史郎 (千葉県環境学習アドバイザー・市川市みどり会特別相談役)
 - ・鹿住貴之 (認定 NPO 法人 JUON (樹恩) NETWORK 理事・事務局長)

17:00 閉会のあいさつ

鈴木石根 (筑波大学生命環境系教授)

主催：筑波大学三菱 UFJ 環境財団寄附講義 (代表：鈴木石根)

連絡先：〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学生命環境系

E-mail: emilhux@biol.tsukuba.ac.jp (白岩善博)

開催趣旨：

筑波大学では、三菱 UFJ 環境財団による「大学向け寄附講座」事業の支援を受け、「筑波大学の全学部学生を対象とする環境に関する授業」を新規開設し、実施しています（2018 年度～2020 年度）。その内容は、講義「地球環境変動と地球規模課題の科学論」（春学期、1 単位）、講義「環境変動影響と持続可能社会構築の科学技術論」（秋学期、1 単位）、生物科学実習 A「海と山の環境学」（集中 1 単位、筑波大学山岳科学センター菅平実験所および下田臨海実験センターで実施）、生物科学実習 B「国内及び海外研修」および「科目外企画」（公開シンポジウム、国際シンポジウム、各種シンポジウムの共催、講演など）です。

本公開シンポジウムは、当該財団から得た資金を活用し、筑波大学の学生、教職員のみならず、環境問題や自然保護に関心の高い市民向けに、「環境に関する地球規模課題と地域における自然保護・生態系保護」をテーマとして開催するものです。企画内容として、環境修復・自然保護活動に実際に携わっている研究者、NPO 法人、活動家による講演と話題提供を組み合わせ、学術研究のみならず具体的活動に基づく情報を共有することです。そしてさらに、地球規模や地域の環境課題に対する意識を高め、より科学的にその活動を展開していくための方策を探ることに役立つ情報を交換することを期待するものです。

パネル討論では、特に、自然保護・環境保全活動における～目からうろこの視点とその意外な落とし穴～のような「やっている人にしか分からない」話を聞くこともその楽しみの一つであり、会場の聴衆と活発な意見交換を行うことによって「自然」の大切さを共有したいと考えています。（文責：白岩善博）

会場へのアクセス：

筑波大学図書館情報メディアユニオン・2F メディアホール

・筑波大学春日キャンパス内・大駐車場の近く（つくばエクスプレス・つくば駅から徒歩 5 分）

